

ていくおふ

～ つかまの里だより ～

H29・11・30 社会福祉法人国際保健支援会 広報第49号

11月に入り、松本市の最低気温は氷点下を下まわることも多くなってきました。施設屋上から見える北アルプスの山並みはすでに真っ白な雪化粧。つかまの里でも冬に向け、準備を着々と進めています。11月上旬には床暖房の電源を投入し、また感染対策の再確認や送迎車のタイヤ交換も終わりました。これからクリスマス、忘年会、大掃除と何かと気忙しい時期、体調を崩すことなく元気に乗り切りたいものです。

デイケア 敬老会ボランティアウィーク



デイケアでは9月14日～9月16日の3日間、敬老会ウィークを開催しました。多数のボランティアさんをお招きしました。南京玉すだれのユニット「ピーナツバター」さんの演出では、おめでたいものの目白押しで、鯛や大黒様等を素敵な歌にのせて披露して下さいました。他にも「ふーみん」さんのとっても楽しいピエロによる手品を見たり、「柳澤章子」さんのピアノ演奏に合わせて懐かしい歌を歌いました。



節目の年(お祝いの年)の方は28名いらっしやって、長寿を願いました。

入所 敬老会



9月10日は入所の方を対象に敬老会が行われました。今年は14名の御祝の方、内4名の方が100歳を超える長寿の方々でした。毎年楽しみにして頂いている敬老会、今年は声楽家の柳澤先生による歌を利用者様に楽しんで頂きました。



開成タイム

去る10月27日は14時から1時間半、近くにお住まいの開成中学校1年生12名と先生1名が当施設に来所され開成タイムが行われました。毎年春と秋に実施されている中学生のボランティアで、春は草刈りを行っていただきました。今回は落ち葉の片付けで、全員で熊手や箒を持って和気あいあいと1時間半行ってもらいました。春にも一度来てくださった生徒さまなので、自発的にどんどん行っていただき、ごみ袋10袋以上の落ち葉を集めていただきました。



文化祭 ～作品展～



11月3日に行われた三才地区の文化祭につかまの里のご利用者様の作品を展示させていただきました。現在つかまの里ではリハビリスタッフが中心となり作業活動を行っています。作業内容は押し花・陶芸・編み物等様々ですが、どの作品も利用者様のアイデアや工夫の



詰まった素敵な作品です。今月は12月のクリスマスに向けてクリスマスツリーとリース作りを実施中です。施設応接室の一角でも作品を展示していますので、つかまの里にお越しの際はぜひご覧ください！

秋の防災訓練 ～地震想定～



11月22日は秋の防災訓練を実施しました。三才町会様にもご参加いただき、今回は深夜1時に震度6強の大規模地震が発生した想定で行われました。地震発生から揺れが収まるまで職員は頭を守り机の下に隠れます。その後は速やかに2F、3Fの全居室を見回って負傷者の確認および応急処置を行い、状況をまとめて事務へ報告するところまでを訓練しました。ガラスの破片を新聞紙を切ったもので表現したり、ベッドやタンスが移動して通路が通れない状況を作るなど、リアルな地震を想定して



訓練を考えました。ヘルメットの装着に時間が掛かるなど課題も多く、今後の改善に繋げて行きたいと思います。

南天診療所よりお知らせ



インフルエンザ・ノロウイルス(感染性胃腸炎・食中毒)が流行する季節に入りました。もし気になる症状等ある場合はそのままにせず、早目の受診をお願いします。ご予約は南天診療所(29-1515)にて受け付けております。

サービス付き高齢者向け住宅 埴生の宿より

埴生の宿では、12月24日に運営懇談会とクリスマス会を行います。運営懇談会では、入居者様やご家族様に埴生の宿の概況等を説明させていただく予定です。サービス付き高齢者向け住宅に興味のある方、入居をお考えの方等、多くの方々に参加していただければと思います。また、クリスマス会では「ゴスペルグループ 響」にお越し頂き、ご参加いただいた皆様とクリスマス気分を味わう予定です。運営懇談会もクリスマス会もどなたでも参加可能です。皆様のご参加お待ちしております。お問い合わせは埴生の宿(28-1201)までお願いします。

